

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市陶化老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

①開所日 : (月)~(土) 祝日も開所 年末年始の4日間は休業 ②利用定員 : 40名 ③通常の事業の実施地域 : 京都市南区と下京区の一部 ④施設の管理運営に関する取組 ⑤通所介護事業、介護予防通所介護事業
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①事業所理念である「質の高いサービス提供」や「個々を尊重した暮らしの支援」を強く意識し、併設のケアプランセンター、地域包括支援センターとも一体となった多面的な支援ができるよう取り組みを行った。 ②地域住民や地域関係機関との連携を積極的に行った。コロナ禍でもあり独居高齢者食事会やボランティアクラブのレクリエーションなどは開催できなかったが、生活や健康相談などを通じ利用者の不安や希望などをくみ取り支援に取り組んだ。 ③1日当たりの平均利用者数は、昨年度よりも増え、33人を超えるようになった。 ④1年間を通じ、機能訓練指導を行うことができた。個別の対応だけでなく、集団体操についても、柔道整復師の先生の指導の下取り組むことができた。 ⑤食事サービスを充実するため、季節の食事だけでなく、バイキング食や選択食を実施した。また、アレルギーや嗜好による代替食についても職員間で検討し、利用者の皆様に満足してもらっている。 ⑥レクリエーションで実施している手作業は、施設に掲示するだけでなく、継続的に広報誌への掲載を行った。また、個人それぞれの希望にそったものを検討し提供した。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容 今年度はコロナ禍で開催が少なかったが、南区内の他事業所との協働による「南区認知症サポートネットワーク」の運営に主体的に関わっており、シンポジウムや認知症サポーター養成講座の開催に尽力している。

3 サービス提供状況

施設長 : 1名 生活相談員 : 2名 看護職員 : 3名 介護職員 : 11名 機能訓練指導員 : 1名 調理員 : 4名 運転手 : 3名 柔道整復師 : 2名
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては一般競争入札に付するとし、100万円未満の委託業務に関しては、随時契約としています。一般競争の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随時契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っています。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 延べ利用者数(実績値)

10372 人

(2) 実利用者数(実績値)

1307 件

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	97,503,802
利用料収入	6,508,993
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	34,477,747
収入計	138,490,542

イ 令和2年度支出状況(単位:円)

人件費	95,462,969
事業費	14,593,417
委託費	
小額修繕費	
その他	28,426,645
支出計	138,483,031

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和2年1月にアンケート実施

(配布数92部 回収49部 回収率53.3%)

利用時間	: 満足 83.3%	やや満足 15.0%	やや不満 1.7%	不満 0.0%	無記入 0.0%
送迎	: 満足 84.5%	やや満足 15.5%	やや不満 0.0%	不満 0.0%	無記入 0.0%
入浴	: 満足 76.9%	やや満足 21.2%	やや不満 1.9%	不満 0.0%	無記入 0.0%
食事	: 満足 84.0%	やや満足 14.0%	やや不満 2.0%	不満 0.0%	無記入 0.0%
レクリエーション	: 満足 58.5%	やや満足 29.3%	やや不満 12.2%	不満 0.0%	無記入 0.0%
機能訓練	: 満足 63.4%	やや満足 29.3%	やや不満 7.3%	不満 0.0%	無記入 0.0%
フライング	: 満足 77.5%	やや満足 20.0%	やや不満 2.5%	不満 0.0%	無記入 0.0%
全体	: 満足 87.5%	やや満足 12.5%	やや不満 0.0%	不満 0.0%	無記入 0.0%

(2) 利用者満足度把握の結果

全体的に「満足」「やや満足」との意見が多数を占めている。今年度は無記入がほとんどない。昨年度は機能訓練についての満足度がやや低い傾向にあったが(満足43%、やや満足29%)今年度は柔整師さんの個別訓練が定着しサービス内容が明確になってきているため満足63.4%、やや満足29.3%と改善されている。さらなる充実に向けて取り組みたい。レクリエーションにおいては外出行事についての要望が多くみられが。コロナ禍でもあり年度途中から個別外出等中止になってしまった。近隣への散歩など、は継続できたこともあり次年度も歩行訓練としても実施していきたい。食事に関する満足度は昨年に続き高く、選択食やバイキング食などの新しい提案も高評価で受け止めている。

(3) 意見等への主な対応状況

- ・コロナ禍ではあるが感染対策を行い個別機能訓練を充実できるように取り組んだ。
- ・レクリエーションにおいては制約事項も多く難しかったが、個別で実施できる手作業やゲームなどの充実を図った。
- ・主菜選択食やバイキング、数種のパンを選択してもらおう形式の食事お子様ランチの大人版など新しいメニューを提供した。

7 その他特記事項

(1)

専門職としてのケアの充実はもとより、地域と共に高齢者を支える視点を持てるように法人（市域）やブロック（3行政区域）での研修、会議などに取り組んでいる。

(2)

センターの機能を充実し、ケアの部分だけでなく、家族も含めた介護相談にも積極的に取り組み、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように支援している。

8 評価（指定管理者自己評価）

・コロナ禍で不安定な中、居宅、包括と連携し地域ニーズに応えた結果、昨年度より利用延べ人数は335人、実人数は59人増えている。また平均稼働率は2.6%昨年度より上昇し83.7%となった。当日のキャンセル率も昨年度より減少している。地道な努力が認めらたと分析している。重度者・認知症の方、独居の方などを多く受け入れているが、医療・介護また地域関係機関との連携を密に行うことにより実現できている。今後もネットワークを活用し住み慣れた地域で暮らし続けるための支援を継続していきたい。

<今後の改善と取り組み>

- ①地域から期待されている役割を職員全員が理解し、質の高い職員集団となるよう取り組む。
- ②法令順守、法人理念について、現場での研修機会を確保し、職員への伝達や理解の確立に努める。
- ③職員会議を有効に活用し、職場内研修、感染症対策、事故対策等の会議を実施しコロナ禍でのデイサービスのあり方を検討する。
- ④昨年度に引き続き職員が職種や業務レベルでの課題、目標の設定を行う。1年に数回、振り返りを行い、それぞれの資質の向上に向けて取り組む。
- ⑤利用者ニーズの情報共有のためにも朝、夕のミーティングをうまく活用し居宅、包括を含むセンターでの対応につなげる。
- ⑥広報紙「陶化の風」を月1回継続して発行することができた。今後も、センターでの取り組みや、思いなどを利用者様、サービス事業所、地域にわかりやすく広報する。
- ⑦福祉避難所としての事前指定を受けていることもあり、災害時への対応の訓練を行い、避難行動の啓発に取り組む。